

原風景保全プロジェクト

天理市豊田町の「山の辺の道」沿いで、「果樹栽培支援・原風景保全プロジェクト」を実施している。美味しいみかんや柿の栽培農家への支援をおこなうほか、市内でも減少しつつある「原風景」の保全を目的に実施している。

「原風景」の保全や果樹栽培に興味を抱く天理大学生や奈良女子大学生、そして天理高校農事部の人たちは、天理市豊田町の「山の辺の道」沿いの山田和正氏の果樹畑で、みかんや柿の摘花・摘果の作業（下写真左）、収穫作業（下写真中）、そして剪定作業（下写真右）などを体験している。この「プロジェクト」は、若い人たちと農家の人たちとの交流と、維持されてきた原風景の保護・保全を目的に進めている。



天理市豊田町の「山の辺の道」沿いの果樹園でのようす。みかんの摘果（左）と収穫時のみかん（中）、そして柿の剪定講習のようす（右）。